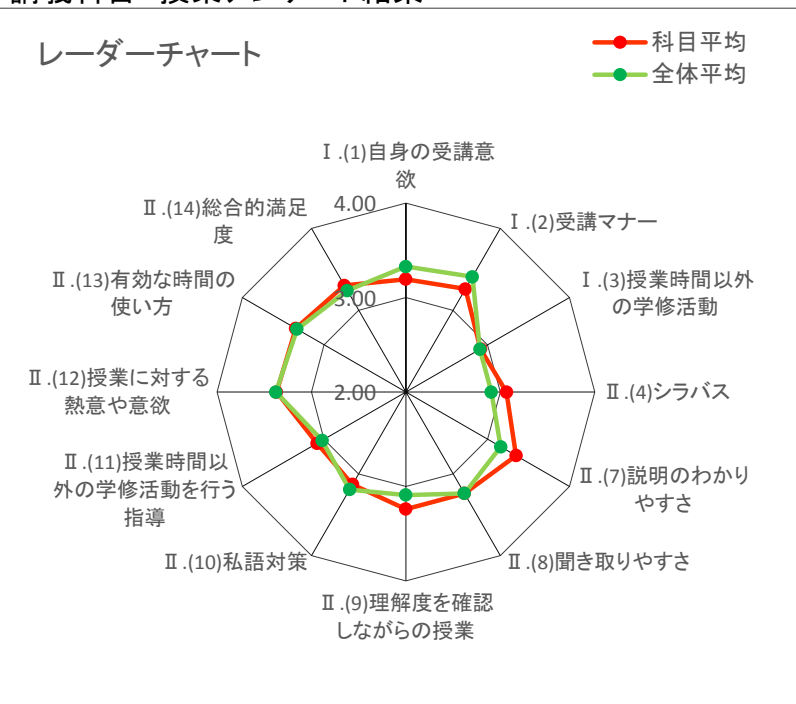
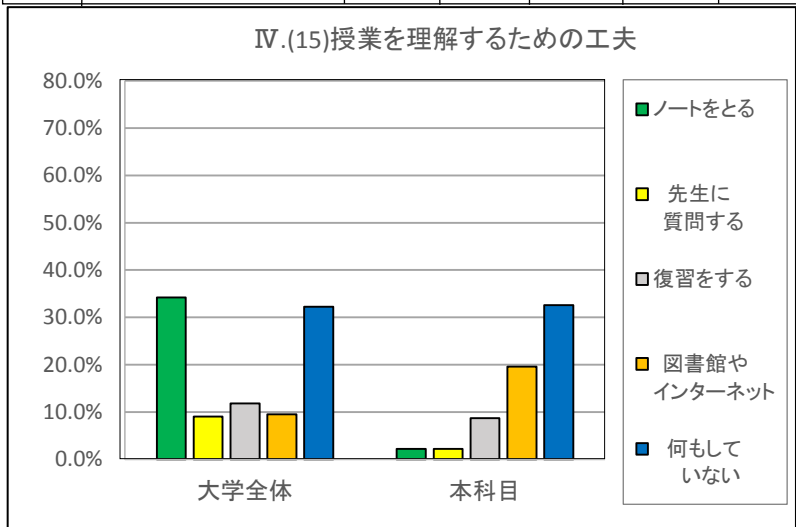


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	2.2%	2.2%	8.7%	19.6%	32.6%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	34105/34306
科目名	生活と環境/環境を考える
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスには講義の全体の流れや目的を記述しており、評価としてはやや全体平均より高いと言えるが、必ずしもその内容を十分理解した上で受講したわけではないと思われるので、講義冒頭において今後の講義の流れを示し、当日の講義概要を説明するなど、講義計画を把握できるように配慮している。またシラバスは講義選択にとっても重要であることから、シラバスにおいても授業計画を十分に把握できるよう、その記述方法については再検討する必要がある。本講義は、日常生活に関わる環境問題や災害問題等を取り上げ、理系的な視点からそれらの問題への理解を深めていく科目である。理系的な要素が含まれているものの、「難易度の高低」の評価は、やや難易度が高いと言う結果となっている。今後さらに、講義内容をわかりやすく伝える方法を工夫し、身の回りの環境へ興味・関心を高めていきたいと考える。

②授業の進め方について

「説明のわかりやすさ」や「聞き取りやすさ」に関しては、全体平均と同等かやや高い評価となっている。「理解度の確認」に関しては、毎回の講義時の冒頭で復習を行っていることより全体平均より高い評価となっている。また、「私語対策」も全体平均とほぼ同等の評価となっていることから、講義環境をほぼ維持し、基本的な講義内容を伝えることはできたものと考えられ、「総合的満足度」も全体平均とほぼ同等の値を示している。ただし、「授業時間以外の学修活動」やそれを促す指導が全体平均とほぼ同等であるが、基本的に不足していると思われる。今回の講義では、講義後に取り組むことができる課題を提示することはなかったため、今後、講義外での課題等を課すことにより、講義に積極的に取り組むような、取組を行う必要があると思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

今回の講義では、ほぼ全項目において全体平均とほぼ同等の評価が得られ、基本的な講義環境を維持することができたとともに、難解になりがちな環境や災害問題と言う理系的な講義内容を基本的な部分に関して、何とかわかりやすく伝えることができたものと考えられる。しかし、講義外での自発的な学修を促すことが不十分であると考えており、本講義の主要な題材である環境や災害問題への本質的な理解を深めることができたのかには疑問が残る。今後は、講義中における発問を増やし、自ら考える機会を適宜設けるほか、講義外で取り組むことのできる小課題を用意することも考えていきたい。また、理系的な専門事項を伝える際には、その意味や内容を丁寧に説明し、十分に理解するための時間的余裕を設けていく。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.20	3.33
	I.(2)	3.26	3.41
	I.(3)	2.91	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.07	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.35	3.16
	II.(8)	3.24	3.24
	II.(9)	3.24	3.09
	II.(10)	3.13	3.19
	II.(11)	3.09	3.03
	II.(12)	3.37	3.38
	II.(13)	3.35	3.33
満足度	II.(14)	3.30	3.24

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.12	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.23	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.30	3.24
III.(14)		